

【様式4】令和5年度 グラバー園におけるモニタリング状況報告書

指定管理者名	長崎南山手グラバーパートナーズ共同事業体	所管課名	観光政策課
--------	----------------------	------	-------

1 利用者からの意見に対する主な対応状況

実施年月日	意見の内容	対応
令和5年9月	グラバー園入口に設置されている車椅子利用向けの看板に、出口から入園できる旨の記載があるが、入園手続きは第1ゲートで行う必要があり、記載内容が分かりにくい。	即日、案内看板の修正を行った。

2 現地調査等の実施状況

実施年月日	内容	特記事項
毎月	旧長崎地方裁判所長官舎耐震補強工事工程会議、旧オルト住宅保存修理工事工程会議等へ出席し、指定管理者を含めた関係者と随時意見交換・情報共有を行った。	管理・運営状況や、工事の進捗状況及び課題を共有するとともに、課題解決に向けた積極的かつ前向きな話し合いを行うことができた。
随時	モニタリング調査事項に係る現地調査を行った。	金銭や備品の管理方法等に係る現地確認のほか、各種調査事項に係る詳細な聞き取りを行った。

3 その他のモニタリングの状況

実施年月日	内容	特記事項
随時	月次報告書の内容を精査のうえ、必要に応じ、聞き取り等を行った。	特になし。

4 サービスの向上や利用者増加への取組み状況

実施年月日	取組み内容	取組みへの評価
令和5年4月～令和6年3月	旧三菱第二ドックハウスを「ゲートウェイ・ゾーン」と位置づけ、先進技術のガイダンス機能を設置し、XR(AR・VR)・プロジェクションマッピングにてガイダンスを実施している。	ガイダンスの実施により、幅広い層の利用者が予備知識を持って園内を散策できるようになり、利用者の増加に寄与している。
令和5年4月～令和6年3月	現行の照明機材に最新の照明技術を導入し、園内工作物、植栽への芸術的なライトアップ演出を行っている。	ライトアップ演出により、グラバー園の夜の魅力が引き出され、利用者の増加に寄与している。
令和5年4月～令和6年3月	レトロ衣装貸出事業においてアニメコラボ衣装やオリジナル衣装をラインナップし、ARを使った室内写真撮影用の背景を導入して、幅広いニーズに応える事業を行っている。	衣装の作製や室内写真撮影用の背景の導入を行うことにより、新たな客層の確保及び魅力向上が図られている。
令和5年4月	専属カメラマンによる記念写真撮影事業として、撮影希望者にはミフホを無料贈呈した。また別途、QRコード付写真の販売を行った。	記念撮影事業を実施し、サービスの向上が図られた。

○施設利用者の状況

○施設利用者の状況											単位		人	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
令和4年度①	37,198	66,566	39,050	33,611	46,088	44,605	72,116	85,866	62,529	39,230	50,131	75,040	652,030	
令和5年度②	56,205	89,083	52,528	40,201	55,042	53,349	76,955	82,830	50,623	37,376	62,218	73,229	729,639	
②-①	19,007	22,517	13,478	6,590	8,954	8,744	4,839	▲ 3,036	▲ 11,906	▲ 1,854	12,087	▲ 1,811	77,609	

総括コメント ※指定管理者に対する市の評価等	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで観光需要も高まり、施設利用者数は、令和4年度比で77,609人増加し、計729,639人となったことから、誘客という点ではコロナ禍前の水準(平成30年度比約80%)に戻りつつある。 また、XR(AR・VR)・プロジェクションマッピングによるガイダンス機能の充実や、ライトアップ設備の刷新、レトロ衣装貸出事業の充実など、利用者の誘客促進につながる取り組みを積極的に実施していたことは評価できる。 引き続き、長崎市の観光施設の中核として、関係機関と連携のうえ、利用者数増の取り組みに努めていただきたい。
-----------------------------------	--